

## 第2回令和6年能登半島地震災害対策支援本部会議 議事要旨

1 日 時 令和6年1月25日(木) 16:10~17:20  
(第162回関西広域連合委員会との併催)

2 場 所 NCB会館

### 3 出席者

<関西広域連合災害対策支援本部>

三日月本部長(滋賀県知事)	齋藤副本部長(兵庫県知事)
山下副本部長(奈良県知事)	平井本部員(鳥取県知事)
永藤本部員(堺市長)	杉本福井県知事(連携団体)
一見三重県知事(連携団体)	村井全国知事会長(宮城県知事)

<代理出席者>

山下京都府副知事	小原神戸市副市長
渡邊大阪府副知事	前和歌山県企画部長
伊藤徳島県副知事	吉田京都市副市長
山本大阪市副市長	

<事務局>

遠藤広域防災局長 城下防災計画参事 他

### 4 報告事項等

(1) 村井全国知事会長から次のとおり情報提供等があった。

- ・避難所における感染症対策のため、石川県庁に感染症対策専門職員を派遣した。
- ・対口支援とは別に、各都道府県の協力により、第1弾として1.5次避難所運営などを担当する職員の派遣57名、第2弾として被害状況調査のための技術職員派遣57名を決定した。
- ・物資支援について、内閣府防災と連携し、国で調達が困難な段ボールベッド、ブルーシート等を各都道府県から提供いただいた。
- ・発災から徐々にフェーズが変化し、初動対応から復旧・復興に向けた動きが始まってきており、現地の状況を踏まえ機動的に対応してまいりたい。
- ・現地から支援に必要な情報が入るようになってきたことから、馳知事とも相談の上、石川県庁に派遣した情報連絡員を引き上げることとした。今後必要が生じれば再度情報連絡員を派遣する。
- ・長期戦が予想されるが、被災地のニーズに的確に responding していくため、関西広域連合をはじめ各地域ブロックと連携して必要な調整を行っていく。

(2) 遠藤広域防災局長から、資料に従って、次の内容について説明した。

- ・被害の状況

- ・ 避難所の開設状況
- ・ 政府の対応
- ・ 関西広域連合の対応
- ・ 構成府県市の支援状況
- ・ 支援の今後の方向性等

## 5 確認事項

- ・ 広域防災局からの説明内容が確認された。
- ・ 被災地支援の今後の方向性として、応急期対策の継続と、これからの復旧・復興期の対策、これらを並行して、被災地の状況・ニーズを確認しながら対応していく。
- ・ 今回の地震で課題として提起されたことを、今後関西広域連合管内で災害が起こった時にどう対応するのか考えていく。
- ・ 特に、それぞれの府県市から被災地に派遣した職員からの報告やコミュニケーションの中で、フォローやケア、そしてシェアをしていく必要がある。

### <各本部員等からの意見等>

- 一見三重県知事
  - ・ 中部圏9県1市の幹事県としての三重県の支援状況について報告。
  - ・ 派遣職員の宿泊場所が課題であったところ、総務省にキャンピングカーを用意していただいた。今後、同様の課題があった場合、我々も用意すべきと考えている。
- 杉本福井県知事
  - ・ 福井県の支援状況について報告。
  - ・ 対口支援を行っている団体間における横の連携が重要。各団体の支援の内容・方法を共有ができる体制を構築していく方策が大事。
- 齋藤副本部長（兵庫県知事）
  - ・ 各府県市において、現地連絡所の設置にご協力いただくとともに、カウンターパート先のニーズに応じた幅広いご支援をいただいていることに、改めて感謝申し上げたい。
  - ・ 石川県庁内に設置している現地支援本部についても、当初は防災担当の兵庫県、奈良県そして神戸市で担当・対応していたが、各府県市からもご協力の申出をいただき、1月19日からは構成全府県市のローテーションにより対応させていただくということになっている。感謝申し上げる。
  - ・ 今後、行政だけでカバーしきれない部分で、ボランティアの支援が必要になる。ボランティア団体への交通費の支援等、サポート体制もポイントになってくる。
  - ・ 今回の地震では、孤立集落の多発、トイレ問題が顕在化した。今回の経験と教訓を踏まえ、来年度予定している「関西防災・減災プラン」の改定にしっかりと反映させたい。

○ 平井本部員（鳥取県知事）

- ・ 発災以降、関西広域連合で三日月連合長、斎藤担当委員はじめ、みんなで一致結束して進めてきたことが大変大きかった。
- ・ 村井会長には知事会の取りまとめ、国の方との折衝、市長会・町村会等の関係団体との調整等、感謝する。
- ・ 関西広域連合から始まった対口支援が、全国でもしっかりと根づいている。こうした仕組みを基本としながら、今後の復興フェーズでは、家屋被害認定等の建築関係に重点が移っていく。今後の中長期支援においても関西広域連合としてどう対応していくのか、支援先も含めた各団体のコーディネートをお願いする。